



募集人員 | 一般市民・大学生・高校生 30名
募集期間 | 平成27年8月31日(月)～9月25日(金)
受講料 | 2,000円(大学生・高校生は無料)
お申し込み方法 | 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 | 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL : 023-628-4203 E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場案内 | 山形大学人文学部1号館1階103教室
大学正門を入って正面の建物です。受付は人文学部玄関にて行います。

その他 | 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。



シャトルバス運行時刻表

<http://www.yamagata-u.ac.jp/pdf/ekijikoku2015.pdf> 参照

なお、山形駅行きの最終便は18:40発となっております。
また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅着の最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

平成27年度山形大学公開講座「人文学部」

山形大学
Yamagata University

平成27年度

山形大学公開講座「人文学部」

地域を学び、 地域を考える

平成27年

10月1日(木)～10月29日(木)

講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分【木曜日 計5回】

【場所】山形大学人文学部1号館1階103教室

【対象】一般市民・大学生・高校生 定員30名

【受講料】一般 2,000円 大学生・高校生 無料

【募集期間】平成27年8月31日(月)～9月25日(金)

〈お問い合わせ先〉山形大学人文学部事務室

電話：023-628-4203

E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第1回 10/1 [木] 地方財政の現状と地域が抱える課題
人文学部准教授 坂本 直樹

第2回 10/8 [木] デマンド型交通と高齢化社会
人文学部教授 砂田 洋志

第3回 10/15 [木] 地域包括ケアシステムと会計
人文学部講師 尻無濱 芳崇

第4回 10/22 [木] 廃棄物政策と地域活性化
人文学部准教授 杉野 誠

第5回 10/29 [木] 地方圏の製造業と医療機器産業
人文学部准教授 山本 匡毅

地域を学び、 地域を考える

平成27年度

山形大学公開講座「人文学部」

講座の概要

人口減少と高齢化に伴い、過疎化はますます加速し、地域経済は活力を失いつつあります。一方で、地方の行財政は、財政難を背景として、「地方創生」をキーワードとする新たな改革が迫られています。こうした問題にいかに対処すべきかがいま地域社会に問われているといえるでしょう。

この講座では、人文学部法経政策学科の教員がそれぞれの視点から、地域の課題を克服し、活力を取り戻す道を探ります。はじめに、地方財政の現状から見える地域の課題を整理します。次に、人と人がふれあい、安心して暮らすことのできる地域社会を求めて、これからの地域交通と地域医療・介護のあり方を考えます。最後に、地域特性を生かし、持続的に発展する地域産業の振興や地域資源の活用に関する新たな戦略を模索します。

第1回

10/1
[木]

地方財政の現状と地域が抱える課題

人文学部准教授 坂本 直樹



国の財政とともに地方の財政も厳しい状況にあります。国の財政が累増する政府債務の問題を抱えているとすれば、地方の財政は人口減少による税収減、高齢化に伴う歳出増という構造的な問題にいかに対応するかが課題となると言えるでしょう。また、高齢化による社会保障関係費の増大は国の財政を圧迫しており、地方交付税など国からの財政移転による地方財源の保障は今後ますます困難になっていくものと考えられます。本講義では、こうした地方財政をめぐる現状を踏まえて、地方が限られた財源の中でいかに地域の課題を解決していくべきかを検討します。

【専門領域】財政学・地方財政論・応用経済学

第2回

10/8
[木]

デマンド型交通と高齢化社会

人文学部教授 砂田 洋志



大都市圏以外では車社会が進展した結果、バスを中心とした公共交通を利用するのは、高齢者と高校生以下の世代、つまり交通弱者だけとなっています。こうして公共交通の利用者が減少した結果、減便や路線の廃止が相次いでいます。このような状況への対策として各地で導入されているのがデマンド型交通です。一言で表すとすれば、乗り合いタクシーです。私が担当する回では、各地の特色ある事例を挙げるとともに、交通弱者の中でも特に高齢者にとって大いに役立っていることを示しつつ、デマンド型交通を紹介する予定です。

【専門領域】計量経済学・統計学

第3回

10/15
[木]

地域包括ケアシステムと会計

人文学部講師 尻無濱 芳崇



少子高齢化が急速に進む日本において、大きな課題となっているのが、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降の医療・介護のありかたです。この問題に対応し、厚生労働省が打ち出している政策が、地域の包括的な医療・介護の支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築です。地域包括ケアシステムの構築に影響を与える重要な要因の一つに、会計があります。会計は時には地域包括ケアシステムの構築を推進する力になる一方で、構築を阻害する場合もあります。本講座では、地域包括ケアシステムの構築における会計の影響を解説し、今後の展望を示します。

【専門領域】管理会計・原価計算

第4回

10/22
[木]

廃棄物政策と地域活性化

人文学部准教授 杉野 誠



地方自治体は、廃棄物の処理を行う義務を負っています。長い間、住民税などの税収から廃棄物処理の費用を賄ってきました。しかし、地方自治体の財政状況の悪化にともない、廃棄物の有料化を実施する自治体が増えてきました。山形市は、平成22年7月より、一般家庭から排出されるごみの有料化を実施しています。「廃棄物政策と地域活性化」では、ごみの有料化を経済学的な視点から検証し、どのように地域活性化が行われているか考えていきます。また、山形市（山形県）が抱える問題にどのように廃棄物の有料化が活用できるかを考えます。

【専門領域】環境経済学

第5回

10/29
[木]

地方圏の製造業と医療機器産業

人文学部准教授 山本 匡毅



医療機器産業は、政府のライフイノベーション政策と関連し、成長産業に位置づけられています。従来は東京都を中心として医療機器産業は集積しており、地方圏に医療機器産業が集積していたわけではありませんでした。ところが近年、静岡県、大分県、福島県を中心として医療機器産業クラスターを形成し、他の県でも医療機器産業への参入支援を積極的に行っています。本講義では、地方圏における医療機器産業の展開を具体的な事例を交えながら、特に山形県が強みを持っている製造業の視点から、その動向を明らかにします。

【専門領域】地域政策論・地域産業論

02		払込取扱票										通常払込料金 加入者負担											
口座記号番号												金	千	百	十	万	千	百	十	円			
0 2 2 6 0 - 7												額					2	0	0	0			
加入者名 国立大学法人山形大学												料	金		備考								
*「地域を学び、地域を考える」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、 第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー 様のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)												通		信		欄							
おとこ (郵便番号 -)												ご依頼人		おなまえ		様		日		附		印	
(電話番号 -)												料		金		備考							
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙8982号)												日		附		印							
これより下部には何も記入しないでください。												日		附		印							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。